

# 2012年度 決算報告

2013年7月12日、第144回組合会で、2012年度事業報告ならびに収支決算が承認されました。その概要をご報告いたします。

## Point 1 経常収支で6,192万円の赤字となりました

2012年度（2012年4月～2013年3月）のIBM健保組合の収入支出決算状況は、収入174億8506万円、支出167億7703万円となり、収支差引で7億803万円の剰金が生じ、0となっていた別途積立金に1億円を計上することができました。これは、年度途中で保険料率を千分の71に改定させていただいたことにより、みなさまからの保険料収入が増加したためです。

それに伴い、保険料収入が大半を占める経常収入は、前年度に比べ22億2289万円増加し163億5781万円となりましたが、一方みなさまの医療費や高齢者医療制度への納付金等の経常支出は164億1974万円と、依然として経常収入を上回っています。これらの結果、経常収支では6192万円の赤字となりました。

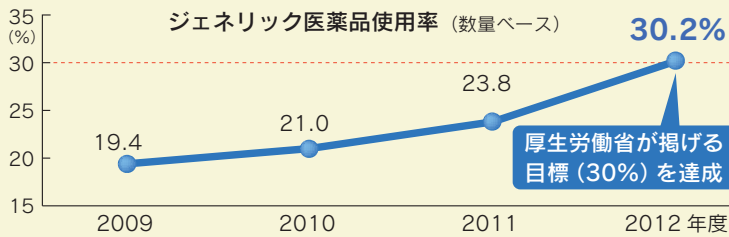
今後、ますます健保組合財政を取り巻く状況が厳しさを増すことが想定されます。IBM健保組合では引き続き、医療費の適正化、保健事業ほか各種業務の合理化・効率化等を推進し、財政の健全化に努めてまいります。

みなさまにおかれましては、医療費のコストを意識した受診（ジェネリック医薬品の選択、柔道整復師にかかる際の健康保険の適正使用など）や、年に1回は必ず健康診断を受けて疾病予防に努めていただき、大切な保険料が有効に使われますよう、より一層のご理解、ご協力をお願いします。

## Point 2 実施した事業の効果 医療費の削減等を図ることができました

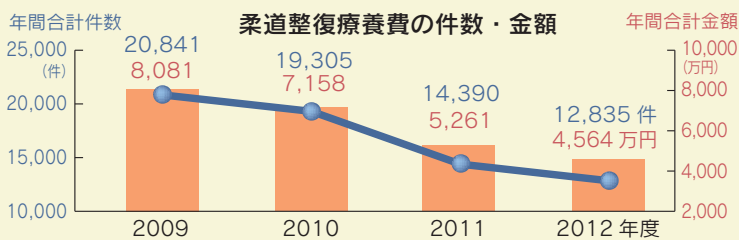
### ジェネリック医薬品の利用促進

国全体では22.8%（2012年9月）と、目標の30%に届きませんでしたが、IBM健保組合は目標を達成しました。



### 柔道整復療養費の削減

件数・金額ともに減少を続けています。



### レセプトの内容審査による医療費の削減

削減額は前年度に比べ61.3%増となりました。

	2011年度	2012年度
医科・調剤	4,958,112円	4,815,532円
歯科	584,224円	623,375円
委託業者(資格審査)	39,408,133円	67,076,058円
合計	44,950,469円	72,514,965円

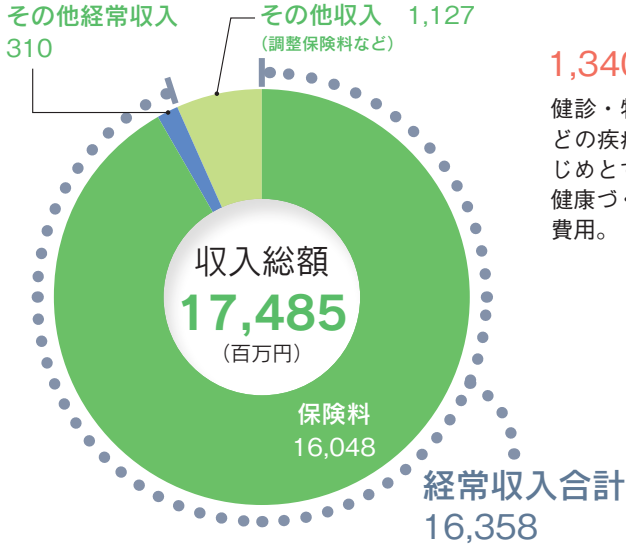
## 2012年度に実施した主な事業

- 1 適用・給付事業
  - ① ジェネリック医薬品の利用促進
  - ② 被扶養者資格の詳細確認
  - ③ 柔道整復療養費の削減
  - ④ 付加給付の見直し
- 2 保健事業
  - ① 特定健診・特定保健指導の定着と推進
  - ② 情報システムの活用及び改修
  - ③ 保健事業の見直しによる事業費適正化の推進

# 健康保険

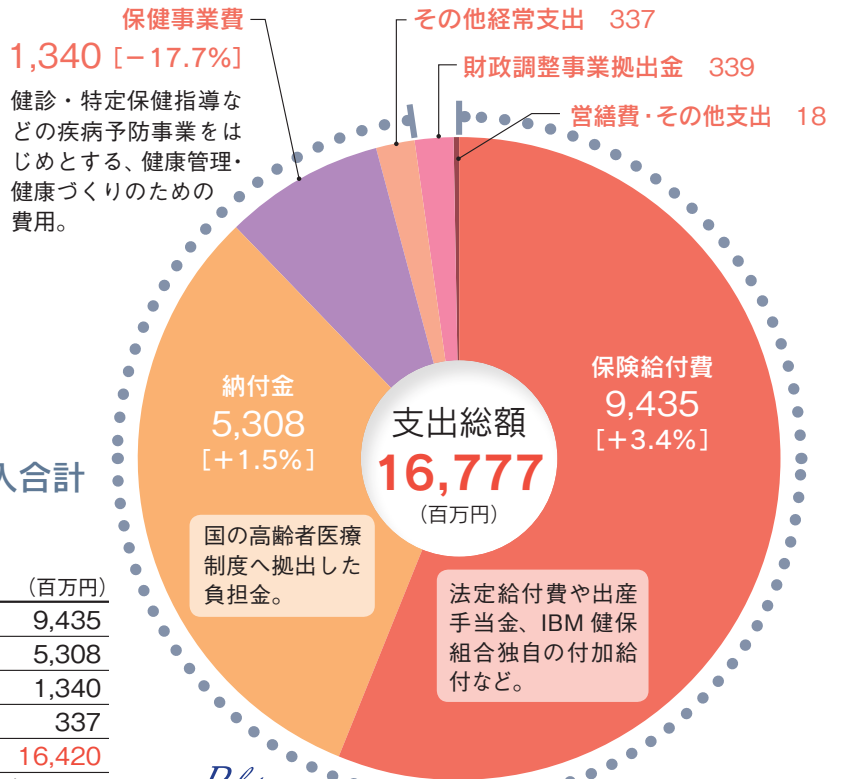
## 保険料はこう使われました

[ ]:対前年度比



収入	(百万円)
保険料	16,048
その他経常収入	310
<b>経常収入合計</b>	<b>16,358</b>
その他収入 (調整保険料など)	1,127
<b>収入総額</b>	<b>17,485</b>

支出	(百万円)
保険給付費	9,435
納付金	5,308
保健事業費	1,340
その他経常支出	337
<b>経常支出合計</b>	<b>16,420</b>
財政調整事業拠出金	339
営繕費・その他支出	18
<b>支出総額</b>	<b>16,777</b>



### 財政調整事業とは？

健保組合ごとに財政状況は異なります。そこで、高額な医療費が発生した場合や財政窮乏組合に対して助成を行っています。これが健康保険法に基づく、財政調整事業といわれるものです。健康保険組合連合会（健保連）がこの事業を行っており、その財源が調整保険料として徴収されています。

## 介護保険

収入	(百万円)
介護保険収入、雑収入	1,419
繰越金	39
繰入金	300
<b>合計</b>	<b>1,758</b>

支出	(百万円)
介護納付金、還付金	1,516
積立金	238
<b>合計</b>	<b>1,754</b>

### 決算残金処分内訳 (百万円)

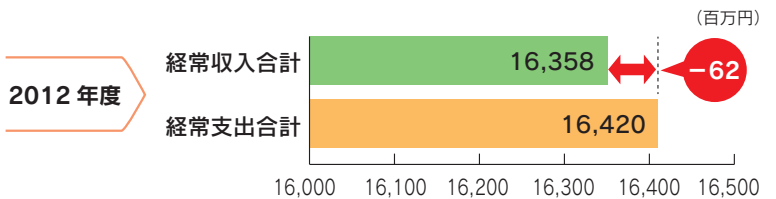
繰越金	595
財政調整事業繰越金	13
別途積立金	100

### Point 3

## 保険料率改定、医療費の削減努力にもかかわらず、財政状況は好転していません

### 経常収支状況

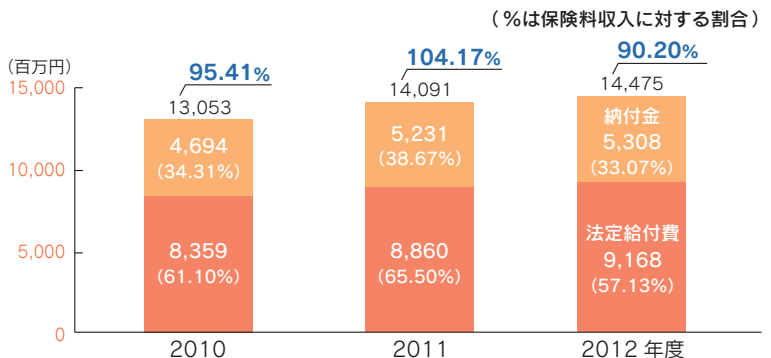
保険料率改定で保険料収入は前年度比 18.6% 増となりましたが、医療費等の増加により経常支出も増えたため、経常収支の黒字化には至りませんでした。



### IBM 健保組合の

#### 義務的経費(法定給付費+納付金)の推移

保険料収入に対する割合は、2012 年度は保険料率改定により前年度に比べ下がりましたが、それでもなお 90% 以上を占めています。今後、医療費の伸びに歯止めがかからない状況が続いた場合、2013 年度には再び 100% 近くにまで上昇する可能性があります。そうなると、さらなる保健事業の見直し、保険料率の再改定を検討せざるを得なくなります。



▶ 表・グラフ中の数値については、四捨五入による端数処理の関係上、内訳の合計と総額が合わない場合があります。